

報道発表資料の配付日時 4月9日(火) 16時00分

発表項目 (行事名)	平成31年北海道森づくり研究成果発表会の開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>森林整備や木材利用に関する研究成果、技術、活動事例の紹介などを通じ、北海道における森づくりや木材利用に関する知識を深め、技術の向上を図ることを目的として、(地独)北海道立総合研究機構森林研究本部と共催により「平成31年北海道森づくり研究成果発表会」を次のとおり開催します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 日時 平成31年4月16日(火) 10:00~16:20</p> <p>2 場所 北海道立道民活動センター かでの2・7 (札幌市中央区北2条西7丁目)</p> <p>3 発表課題等 別紙「プログラム」のとおり</p> <p>4 参加申込 申込方法は、森林研究本部のホームページに掲載しています。 なお、報道関係の方の申込は不要です。</p> <p>【ホームページ】 http://www.hro.or.jp/list/forest/research/fri/event/31kaisai.html</p>		
参考			

報道(取材) に当たって のお願い			
他のクラブ との関係	同時配付 同時レク	道政記者クラブ、北海道林政記者クラブ、上川記者会	

担当 (連絡先)	水産林務部森林環境局森林活用課美唄普及指導員室(担当:神田 克明) TEL 0126-66-6100(直通)
-------------	---



道総研

平成31年 北海道森づくり研究成果発表会

参加
無料

森林整備や木材利用に関する研究成果、技術、活動事例をわかりやすく紹介し、本道における森づくりや木材利用に関する知識を深め、技術の向上を図ることを目的として開催します。

日 時 平成31年4月16日(火) 10:00~16:20

場 所 かでる2・7 かでるホール及び展示ホール 札幌市中央区北2条西7丁目

お問い合わせ先

地独)北海道立総合研究機構 森林研究本部 企画調整部 普及グループ (渡邊・棚橋)
〒079-0198 美瑛市光珠内町東山 TEL 0126-63-4164 (内254) FAX 0126-63-4166
E-mail :forestry@hro.or.jp

— 口頭発表プログラム — 会場：1階 かでるホール

- 1 開 会 10:00
- 2 開会挨拶 北海道水産林務部森林環境局長 鈴木 道和
- 3 発 表
 - (1) 一般発表 10:05~
 - 1) UAVを活用した低コストで簡易なオルソ画像の作成及び収穫調査の省力化
北海道森林管理局胆振東部森林管理署白老森林事務所 小畑 暢
 - 2) 道有林日高管理区におけるモバイルカリングによるエゾシカ捕獲の取組経過について
北海道空知総合振興局森林室普及課 櫻井 涼子
 - 3) ダケカンバ更新林分の保育試験
北海道オホーツク総合振興局西部森林室森林整備課 坂田 貴範
 - 4) 北海道におけるカラマツ人工林資源の動向と将来予測について
北海道水産林務部林務局森林計画課 原武 泰寛
 - (2) 森林研究本部の研究概要 11:05~ 道総研森林研究本部長 及川 弘二
- 森林資源の循環利用のために (林業技術) — 11:15~
 - 1) グイマツ雑種F1の成長量及び資源の現況と造林技術について
林業試験場森林経営部経営G 滝谷 美香
 - 2) 造林作業の機械化への挑戦~根株粉碎機能を有した自走式刈り払い機の性能~
林業試験場森林経営部経営G 渡辺 一郎
 - 3) 苗木需要量の増加に対応したコンテナ苗生産・植栽システムの開発
林業試験場保護種苗木部 来田 和人
林産試験場技術部製品開発G 近藤 佳秀
- 昼休み 12:15~12:45、コアタイム1回目 12:45~13:25 -----
- 森林資源の循環利用のために (木材利用技術) — 13:25~
 - 1) 道産カラマツによる高強度集成材の開発
林産試験場技術部生産技術G 松本 和茂
 - 2) 北海道CLTパビリオンの建設
林産試験場技術部生産技術G 大橋 義徳
 - 3) 木質バイオマス発電の経済性評価
林産試験場利用部資源・システムG 古俣 寛隆
 - 4) 木質燃焼灰は融雪資材として使えるか?
林産試験場利用部バイオマスG 折橋 健
 - 5) 防腐薬剤処理木材の耐用年数は何年なの?
林産試験場性能部構造・環境G 小林 裕昇
- 森の役割と森からの恵み — 14:50~
 - 1) 速報 北海道胆振東部地震で発生した崩壊地における植栽基盤の実態調査
林業試験場森林環境部環境G 速水 将人
 - 2) 暮らしと産業を守る海岸防災林とその管理について
林業試験場森林環境部環境G 阿部 友幸
 - 3) 商品化されました！道産マイタケによる肉軟化効果を利用したエゾシカ肉のジンギスカン
林産試験場利用部微生物G 檜山 亮
- 4 閉会挨拶 道総研森林研究本部林産試験場長 八坂 通泰
- 5 閉 会 15:40 ※閉会後も、ポスター発表会場でコアタイム2回目(15:40~16:20)を行います。

— ポスター発表 — 会場：1階 展示ホール 10:00~16:20

森林整備や木材利用に関する研究成果、技術、活動事例のパネル展示を行います。

— 林業普及指導活動の紹介・林業普及写真展 — 会場：1階 展示ホール 10:00~16:20

道内で活躍する森林所有者や林業普及指導活動をパネルで紹介します。

本発表会は、一般社団法人・自然環境技術者教育会(JAFEE)の"CPD制度認定講習会"です。

ポスター発表一覧 会場：1階 展示ホール

コアタイム1回目 12:45～13:25、2回目 15:40～16:20

※コアタイムでは発表者がポスターの内容をご説明します。

【一般発表】

- 1) 道産木材製品の販路拡大の取組～HOKKAIDO WOOD～
北海道水産林務部林務局林業木材課 今廣佐和子
- 2) 林地未利用材の集荷・搬出手法の実証（その2）
北海道水産林務部林務局林業木材課 浅田 勝美
- 3) 衛星画像等を活用した森林資源把握の取組について
北海道水産林務部林務局森林計画課 青田慎之輔
- 4) 列状間伐を想定した低密度植栽の実践
北海道胆振総合振興局森林室普及課 栗田 健
- 5) 生物季節を考慮した、トドマツの雌花芽生産に好適な温度条件の探索について
国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所北海道支所森林育成研究G 関 剛

【森林研究本部－森林資源の循環利用のために（林業技術・木材利用技術）－】

- 1) 道産カラマツの成熟材を活用した高強度LVLの開発
林産試験場技術部生産技術G 古田 直之
- 2) 北海道CLTパビリオンで用いられている接合方法
森林研究本部企画調整部企画課 戸田 正彦
- 3) 道産CLTの各種材料性能のデータ整備
林産試験場技術部生産技術G 高梨 隆也
- 4) “現し”仕様に対応した道産トドマツCLTをつくる
林産試験場技術部生産技術G 石原 亘
- 5) CLT生産施設の生産規模別にみた事業性について
林産試験場利用部資源・システムG 渡辺 誠二
- 6) 北海道における近年の原木需要に対する林業事業体の対応状況
林業試験場道南支場 津田 高明
- 7) ミズナラ苗木の初期成長促進手法の検討～地表処理及び下刈り回数の効果検証～
林業試験場森林環境部環境G 蓮井 聡
- 8) 先進技術を活用した森林調査手法の研究
林業試験場森林経営部経営G 鍛名 益仁
- 9) 公共建築物への地域材利用を支援するためのツールの開発について
林産試験場利用部資源・システムG 石川 佳生
- 10) ダケカンバは野球のバットに使えるのか？
林産試験場性能部構造・環境G 秋津 裕志
- 11) 銅を利用した塗装木材の耐候性向上処理の検討
林産試験場性能部保存G 伊佐治信一
- 12) 屋外用途での木製品の需要拡大に向けたアセチル化木材による高耐久木製品の試作
林産試験場利用部バイオマスG 長谷川 祐
- 13) 林地に放置された丸太の燃料品質を調べました
林産試験場利用部バイオマスG 山田 敦

【森林研究本部－森の役割と森からの恵み－】

- 1) 美唄市植物誌への試み
林業試験場森林経営部経営G 新田 紀敏
- 2) 本道に自生するクランベリー（ツルコケモモ）の栽培化に向けた取り組み
林業試験場森林環境部樹木利用G 錦織 正智
- 3) 北海道におけるマツタケの発生環境
林産試験場利用部微生物G 宜寿次盛生

林業普及指導活動の紹介・林業普及写真展 会場：1階 展示ホール

◇活躍する森林所有者の紹介

◇林業普及写真展（指導林家・青年林業士の活躍、森を守る、施業の低コスト化、森林資源の循環、地域の山をよくするために、木とのふれあい、活躍する林業グループ、人材育成、胆振東部地震の被災森林所有者訪問）